

島根電気株式会社 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年6月21日

島根電気株式会社
代表取締役社長 野津 廣一

◆経営理念

- 常に新しい技術を追求し、明日の、そして未来の快適環境を創造しつづける事業をめざす。
- お客様のニーズをつくり提案し、素早く的確に対応することを規範とし、信用度の高い企業をめざす。
- 一人ひとりが目標を掲げ挑戦し、失敗を恐れない若い活力と協働の魅力あふれる風土をめざす。

◆目指す姿

- 人を大切にする会社になる。
- お客様に愛され、必要とされる会社になる。
- 過去や業界の常識にとらわれず、常に変化出来る会社になる。

SDGsの達成に向けた取り組み

脱炭素社会の実現に向けて

事業活動に伴うCO₂排出量を削減します。

<具体的な取り組み>

自己消費型太陽光発電設備の設置・提案／水素エネルギー利活用の推進・提案／EV車の導入／省エネ照明・空調設備の導入・提案／自動制御を用いた夜間照明の節電／社内書類の電子化／廃棄物削減・リサイクルの実施／ESG領域における投資

— 関連ゴール —



地域社会への貢献

持続可能な地域づくりのため、企業として、地域の教育貢献や地元人材の活用、従業員のボランティア活動の参加を推進します。

<具体的な取り組み>

中学、高校インターンシップ受入／地元人材の定期的な採用／地域清掃活動への取り組み／障がい者支援(あいサポート企業認定)

— 関連ゴール —



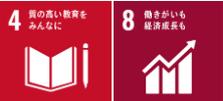
働きがい

社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

<具体的な取り組み>

B.B.制度(育成役として若手社員に専属で先輩社員を置く)／定期的に若手社員との懇親会開催

— 関連ゴール —



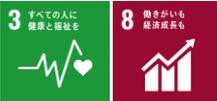
ワークライフバランス

社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

<具体的な取り組み>

有給休暇・育児休暇の取りやすい環境づくり(アニバーサリー休暇、育休・産後パパ育休制度)／仕事と家庭を無理なく両立させる為の制度(週3回のノー残業デー)

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

